北から南から

地域のつながりにクラブを立ち上げる

福井県越前市東地区　北府三丁目夢クラブ

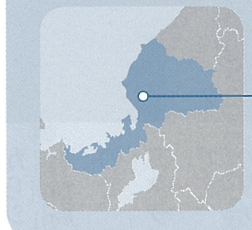
●会員数　43名（男性10名、女性33名）

町内は40年程前の新興住宅地で、現在は高齢者世帯や独居世帯、そして空き家・空き地が目立ってきました。婦人会や壮年会もなく、地域のつながりは希薄でした。今後益々の高齢化を考えて日頃の地域のつながりの重要性を感じていた私は、平成27年春に区長を受けて、真っ先に頭に浮かんだのは「シニアクラブをつくらなくては」ということでした。

町内でシニアクラブの必要性を確認

しかしシニアクラブの知識がなかったので、まず連合会を訪ねて教えて頂き、社協や地区連合会にご協力頂いて区長会役員会で提案、同班長会でクラブの必要性を学習。その年の10月に結成しました。

役員はこれまでのお付き合いからお願いして、その方々とクラブの在り方を話し合いました。「シニアクラブは会員の交流はもとより、知識や経験、持てる時間や体力を地域のために役立てたい」との思いを込めて規約を作りました。結果的に41名でスタートして、会場の喫茶店は押し合いへし合い。会の名前は、会員アンケートから〝いくつになっても夢を持って生きようね〟と「夢クラブ」としました。



月１回のサロン

月2回の活動と福祉施設での4回のサロン

毎年新年度には、町内全戸に活動と規約を印刷したチラシを配布して、入会の勧誘をします。今年度は7名が入会しました。

活動は、サロンとつどい体操（講師は会員のスポーツ推進員）を各月1回。そしてクリスマス会、新年会を開催します。

サロンは学習会の他、バスで春は「新緑を見る会」、秋は「紅葉を見る会」。また昨年のクリスマス会には子どもたちが参加して、一緒にクリスマスケーキのデコレーションを楽しみました。新年会は町内の尺八の先生による演奏会、お琴も入り新春気分を満喫しました。また昨年から、会員のお誕生月にバラを一輪お届けして大変喜ばれています。

集会場がないため、活動は町内の福祉施設を利用させて頂いています。施設の方も会に参加され、一方、施設が月4回地域に開放しているサロンに私たちも参加させて頂き、相乗効果を生んでいます。

子どもたちとクリスマスケーキづくり

地域で子（孫）育て

若い人たちは仕事や子育てに大変。そこで「シニアがお手伝いを」と、結成翌年から子ども会のラジオ体操を再開させ、会場の喫茶店駐車場には子どもたちがジーちゃんバーちゃんと一緒に参加します。

昨年からは子どもたちにつどい体操（第三土曜日午前）への参加を呼びかけています。まだ定着していませんが、地域で子育てとの思いで声をかけています。

夏休みの一日には、子どもたちと近くのお寺へ歩いてお出かけ。ご住職の指導でミニ座禅を体験、本堂のふき掃除や昼食のおにぎりづくりも一緒に楽しみました。

これらの活動は、会員が日頃孫の見守りをしていることから、「地域で子（孫）育て」として出てきた活動です。活動を通して子どもたちの顔が見えてきて、挨拶もスムーズになりました。

発足して丸2年。「顔見知りの人が増えて挨拶できるようになった」「サロンが楽しみ」という声も聞かれ喜んでいます。これからがシニアクラブの出番。みんなの元気の源、地域の元気の源となれるよう、そして住み慣れた地域に少しでも長く住み続けられるよう、みんなで知恵と力を出し合って活動を続けたいと思います。

（会長　大久保恵子）

つどい体操

※東地区では、このクラブの立ち上げをきっかけに、他に5クラブが次々と誕生しました。